

ウチヤマタイムズ

発行日:平成28年2月20日/編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里/監修:内山文治・吉岡信之
発行所:(株)ウチヤマホールディングス/〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10/電話:093-551-0002

2016



さわやか俱楽部 症例発表大会を 開催!



さわやか俱楽部では、一月二十三日に「症例発表大会」を行いました。症例発表とは、介護施設の入居者様に対して機能回復や病状の改善に取り組み、実際に症状が良くなつた事例を施設ごとに発表するというものです。

全国の施設を十のエリアに分け、まずエリア単位で予選を行い、その中で最も優れていた十施設が本社に集まり、全国大会で最終プレゼンを行いました。審査には船井総合研究所の三浦康志先生も特別参加してくださいました。参加者全員による審査の結果、最優秀賞に「さわやかかぬま館」、優秀賞に「さわやかなんよう館」がそれぞれ選ばれ、内山社長から表彰状の授与が行われました。



最優秀賞 さわやかかぬま館 (栃木県鹿沼市)

「バルーン抜去の試み」

「入居者様の心に寄り添つて、不可能を可能にする挑戦」

神経因性膀胱の為、バルーン抜去は不可能だと医師から言われた方でしたが、ご本人やご家族様が抜去してほしいという思いになんとか応えたいと試行錯誤する中で、協力して頂ける一人の医師に出会いました。治療を開始するにあたり、長期的になるとの当初の予想に反して、一ヶ月余りで抜去に至りました。

入居者様はトイレで排泄する事が可能になり、その結果立位保持が安定して出来るようになります。意欲も生まれ、ご入居当初は言葉が少なく会話もままならない状況でしたが、自分の思いを訴える事から言葉数も増え、笑顔を多く見せてくださるようになりました。そんな姿をご覧になられたご主人の嬉しそうな笑顔。久しぶりにお会いになられた娘様からは「母と会話が出来ました。この施設に入れてよかったです。本当にありがとうございます」とおっしゃって頂きました。オープンして数か月なり、



施設長

秋岡 勲

計画作成担当者

菊地 洋子

↑入居者様とご家族様

なかなか軌道に乗れず意気消沈していた日々の中で頂いた言葉でした。「かぬま館に来て良かった」そう言つて頂くために私達はいるのだと改めて実感し、今でもその時のことやその言葉を思い返しては日々勤務させて頂いております。

今回のケースを通して、どんなに困難な事例でもあきらめてしまつたらそこに解決策は見い出せず、何も始まらない。しかし何とかしてあげたい、どこかに道はないのかと最後まであきらめないで関わっていくことで開けていくことを実感しました。

一人の努力では、決して実現できませんでした。看護師の立場からの助言があり、毎日介護に携わることで職員の努力があり、何よりバルーンを抜去することできななりリスクが高いことを承知の上で協力して下さった地域医療の泌尿器科の先生。多職種連携で実現できたことだと思います。トイレで排泄をする、口から物を食べるといった基本的な人間の生活動作は、年齢を重ねても自分でやりたいという欲求はあります。そんな思いに寄り添つていくことこそが、さわやか俱楽部の理念の実践に繋がることだと教えて頂きました。

さわやか俱楽部 症例発表大会

優秀賞

さわやかなんよう館

(愛知県名古屋市)



「スッキリプロジェクト」

～玄米を食べて
便秘解消・食物纖維と
便秘の関連性について～



一般的に高齢者施設では慢性的な便秘を抱えている方が多くおられます。なんよう館でも当初五十六名の方々が便秘症状を抱えておりました。そこで、なんよう館にて提供されている食事内容に着目し、食物纖維を取り入れた食事による便秘の解消に取り組みました。

便秘を解消する為に下剤を使用するケースがありますが、無理やり出そうとすると肛門が傷ついて、痛み・苦痛を伴う場合もあります。また腸を強引に動かすと腹痛・嘔吐などの症状がみられる場合もあります。私たちは少しでも苦痛や痛みを軽減し、薬を使用する頻度を減らせないか、自然排便を促せないかを考えました。

今回の取り組みで、白米に比べて約五倍の食物纖維を含む玄米に切り替えたことで、便秘解消への効果がありました。一日の水分摂取量にも目標を決めて、段階的に変化の様子を記録していました。すると、実際に服薬の回数が減ったり、苦痛が軽減したりといった効果が表れ、中には便秘から自然排便へと変化した入居者様もおられました。

さわやか俱楽部では、あらゆる面から様々なケアが行われておりますが、そこには『食事』と



施設長 小玉智一

いうケアも含まれています。生活の構成要素において『食事をする』ということは、生命維持のためにも、日々の楽しみの上でも欠かせません。玄米が受け入れににくいという入居者様もいらっしゃる為、今後は継続して提供できるもの、進んで食べたくなるような食事の内容を検討し、毎日スッキリ排便できるようプロジェクトを続行していく予定です。



光り輝くスタッフをご紹介!

キラリ★一等星

草原 仁美さん 24歳

(株)さわやか俱楽部／営業部 事業開発課



STAR
No.96

大学の頃は介護とは全くかけ離れた、火山・地震・岩石といった地学の勉強をしていました。卒業論文では鹿児島県奄美大島の災害について、島民に聞き取り調査を行い、多くの方と交流を深めることができました。大学生といえども島の方にとっては見慣れない人間です。不信感を持たれないように、笑顔と明るいあいさつを忘れずに話しかけることに気をつけました。人見知りする性格でしたが、この調査のおかげで少し克服できたような気がします。島には高齢の方が多く、戦時中のお話や時代背景など様々な経験をうかがい、人生の先輩方の偉大さを感じ、高齢者の方と関わる仕事に興味が湧いたきっかけになりました。

就職活動中に参加した合同企業説明会で、さわやか俱楽部を知りました。会社の説明をして下さった田中エリアマネジャーや職員さんの楽しそうな雰囲気に魅力を感じ、入社を決めました。

現在は、本社の営業部にて産学官連携事業や新規施設の開発の仕事を携わっています。産学官連携では、九州歯科大学寄附講座高齢者支援学講座の秋房住郎教授、松田悠平助教を始めとして、九州大学芸術工学研究院の平井康之准教授、九州工業大学の柴田智広教授、井上創造准教授など様々な先生方との協同事業を進めています。それぞれの分野のプロフェッショナルと関わりを持つこ

とで興味の範囲が広がり、“学び”への意欲が高まっているのを感じています。新規施設の開発では各市町村へ提出する書類作成を行っています。介護保険に関する知識や各事業所の特徴など、まだまだ勉強不足だと痛感しています。仕事を通じて介護に関する知識を深め、より良いサービス提供に繋げていきたいと思います。

入居者様との触れ合いが私のやる気の源です。なかなか施設を訪れる機会がありませんが、毎月行われる各施設の職員会議やアソノバティオにて行われる誕生日会で、入居者様にお会いした際に「あなた久しぶりね～」「頑張りなさいよ」と声を掛けて頂けること、顔を覚えていて下さることがとても嬉しいです。入居者様の生きがいづくりに少しでも寄与できるように精進していきます。

休日はのんびりと散歩したり、友人と買い物やドライブに行ったりして過ごしています。時間に余裕ができたら、ツーリングや大学の時にやっていたお箏(こと)も再開してみたいなあと考えています。

入社して3年目になりますが、本当に良い職場に恵まれたと感じています。上司や各エリアマネジャー、管理者の方々に支えられ、楽しく仕事ができます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。今後もご指導の程、宜しくお願ひします！

BEST

ウチヤマグループで働く皆さんの日報を紹介します。

日報賞



奥秀幸 エリアマネジャー さわやか行橋式番館の入居者様、職員と一緒に。
さわやか倶楽部 運営部 福岡県北九州市



石原稔 料理長

かんてきや スクンビット店
タイ(バンコク)

本日はさわやか行橋式番館で介護職員の面接を行っています。9年間病院で看護助手をしていた女性です。応募のきっかけは、93歳の祖父が行橋式番館に入居されており、面会に来ていたことです。「施設に来るたびに、職員さんが元気にあいさつしてくれて明るく楽しそうに働いていたから」と言ってくれました。

職場の雰囲気は、第一にあいさつです。楽しく働くことは、やりがいに繋がります。今回の応募者の方が面会に来て感じたことは、演出ではなく職員の働いている日常です。行橋式番館は、開所2年に満たない、まだまだ課題もある施設ですが、理念の実現に向けて一歩ずつ進んでいます。

1月もあっという間で本日が最終日でした。月初はなかなか数字が伸びず、最初の10日間は厳しい営業で若干心配をしておりました。

しかし14日からどんどん伸び、1日の売上の最高記録を2日続けて更新するなど、平日平均81931バーツ、土日を合わせても76690バーツ平均で売り続けることができました。これも支持して下さるお客様と、忙しい中笑顔で頑張ってくれるスタッフのおかげです。

12月に作った月間最高売上を更新しました。明日から2月のスタートです。朝礼にてスタッフに売上を伝えるとともに、ありがとうございます。

産んでくれて、
育ててくれて、ありがとう。



廣門伸武さん

さわやか直方館
福岡県直方市

両親へ、感謝の
気持ちを込めて…

私は幼い頃より活発で、いつも両親に見守られて生活していました。父と母にはいろいろな苦労をかけてきました。いつも私の考えを尊重してくれていた父だったので、7年前に事故で他界しました。

父が他界した時、父との思い出といえば幼い頃の記憶ばかりで、私が早くに親元を離れたせいか、成人してからの父との思い出は少なく感じました。それからの7年間で、父の友人や同僚の方から父の話をいろいろ聞かせてもらいました。さわやか直方館に勤務させて頂けることになった時も、偶然父のことを知るご入居者様と出会い、「お父さんには本当に世話になった」というお言葉を頂きました。父のおかげでそのご入居者様からも本当によく目をかけていただきました。今思うことは、「今も昔も父に守られている」ということです。そんな父のことを私は尊敬しています。

今は母と2人で生活しています。父がいなくなつてから母も体調を崩しがちです。私が父の代わりになることはできませんが、側にいて支えていくことはできると思います。これからは今まで以上に自己成長できるよう仕事に取り組み、父にできなかつた「親孝行」を母にしていきます。

普段は恥ずかしくて感謝の気持ちをなかなか伝えることができませんが、お父さん、お母さん、産んでくれて、育ててくれて、ありがとうございます。

おたよりのご紹介

さわやかこすもす館

先日、おばあちゃんのところに近所の方が数人みました。多人数で来て長時間おりましたが、とても気持ちよく対応して頂きました。

みんなで写真もとってももらい、おばあちゃんもすごく喜んでおりました。その節は大変歓迎して頂きありがとうございました。
(福岡県久留米市・緒方様より)

コロッケ倶楽部 南大分店

たかのさん、ひぐちさん、よつじ君の3人は、忙しいのにかかわらず笑顔で接して頂きました。全てに配慮が行き届き、とっても楽しいカラオケになり嬉しかったです。

料理も手作りでとっても上手で、客のタイミングを見てアツアツで食べられました。すべてが最高で、友達を連れて行って良かったです。(大分県大分市・園田様より)

コロッケ倶楽部 アサノパティオ

1月の予約を年末からしていましたが、予約時点の対応、部屋の手配などお気遣いいただき、当日31名のお客様にもたいへん喜んで頂きました。田代店長の心温まる対応でした。

(福岡県北九州市・大島様より)

コロッケ倶楽部 浜松町店

先日は誕生日のハガキをありがとうございました。お店でいっぱいごちそうになり、心から感謝申し上げます。お陰様で大変楽しい誕生日でした。

その心ばかりのお礼に、先日は草加煎餅を店員の方々にお渡しできました。いつも楽しくカラオケさせて頂いています。今後とも100才までどうぞよろしく。(東京都渋谷区・カシタ様より)



めんべい 工場見学!

福岡県田川市の添田町にあります『めんべい』という明太子を使った煎餅の工場を見学しました。『ウェルカムボード』が嬉しいですね。

工場見学の前に試食コーナーにて『試食』をさせて頂きました。御飯に辛子明太子、辛子高菜やいわしの明太子など…。めんべいやかりんとうも頂きました。コーヒーやお茶やミネラルウォーターもおいしく頂きました。



工場内を見学させて頂いた後に『おみやげ』も頂きました。かわいいメッセージと一緒にめんべいやかりんとうやチョコが入ったおみやげです。

お陰様で楽しい時間を過ごすことが出来ました。『めんべい工場』の皆様、大変お世話になりました。(内橋 泰子)



ドッグセラピー



待ちに待ったドッグセラピーが開催されました。ドッグセラピーはご入居者様にも大変好評で、この日を待つておられました。本当に可愛らしく、犬さん達もご入居者様に人懐っこく駆け寄っていましたね。

私達職員も、ご入居者様のまたいつもと違った表情を見させて頂きました。とても和やかなひと時でした。このような楽しい時間を作つて頂いた職員や関係者の皆様には大変ありがとうございます。(大久保 俊明)



みんなのお便り集まれ～！

さわやか だより



歌に踊りに 大好評!!



ボランティアのおばこ会の皆様が来てくださいました。歌に踊りに盛り沢山な時間となり、ご入居者様たちにとても喜ばれていました。

こちらは剣を使った踊りで皆様を引き付けていました。剣さばきがとてもかっこよくて、特に女性に好評でした。



歌詞カードを用意して下さって、みんなで青い山脈を歌いました。リードが上手だから、他の方もよく声が出ていました。歌いながら感極まって泣いてしまう方もいました。懐かしい曲と民謡で「楽しくって夢のようだった」と大変好評でした。(庄司 恵美子)



さわやか
めかりかん
和布刈館
福岡県北九州市

豆まき



豆まきの様子をご紹介します。活力朝礼の後、ご入居者が鬼退治して下さいました。福は～内っ、鬼は～外っ。最後は鬼と仲良しになっちゃったご入居者様。外での豆まきにご参加出来なかったご入居者様には各階、各居室にて豆まきを行いました。

今年も皆様にとって福いっぱいの一年となりますよう

に…(小西 博美)



鬼退治!



節分の日に行われた豆まき…というか、激闘の鬼退治の様子をお伝えします。まずは番野センター長より「鬼退治開会宣言」。「皆で力を合わせて鬼を倒し、良い年にしましょう！」。怖くて迫力のある鬼が3匹もやってきました。鬼退治の開始です。皆様新聞紙の玉を勢いよく投げられています。鬼は外～、福は内～。皆様のパワフルさで無事に3匹の鬼を退治することが出来ました。

この節分行事には御家族様も参加されました。手作りのお面、とてもお似合いです。また鬼が来たときは皆様宜しくお願いします。(関 千愛里)



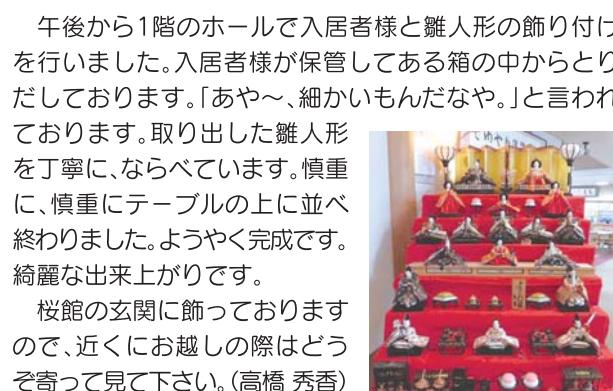
さわやか
かん
なすしおばら館
栃木県那須塩原市

かっぽれ♪

この日のボランティア様は、入居者様の踊りの先生です。江戸芸「かっぽれ」を披露してくださいました。お元気に踊られている姿に、皆様驚きです。「自分も負けていられない」と刺激を受けられたようです。入居者様も、久々の再会に嬉しそうでした。(高根沢 沙織)



雛人形の飾り付け



午後から1階のホールで入居者様と雛人形の飾り付けを行いました。入居者様が保管してある箱の中からとりだしてあります。「あや～、細かいもんだなや。」と言われてあります。取り出した雛人形を丁寧に、ならべています。慎重に、慎重にテーブルの上に並べ終わりました。ようやく完成です。綺麗な出来上がりです。

桜館の玄関に飾っておりますので、近くにお越しの際はどうぞ寄って見て下さい。(高橋 秀香)

message from PRESIDENT

ウチヤマグループ代表 内山 文治

有事の対応にみる 本当のやさしさ

平成二十八年一月二十一日から二十六日にかけて、日本各地に大寒波が訪れました。滅多に雪が積もることのない九州でも、一月二十三日から二十五日にかけての積雪や道路の凍結などにより交通網が大きく乱れました。ボナーが運営しているカラオケ店「コロッケ倶楽部」や、さわやか倶楽部が運営する介護施設においても、水道管の凍結や破裂による断水など、様々な影響が出でてきました。そんな中、さわやか倶楽部の介護施設においては、命をお預かりしている入居者様を責任を持つてお守りするため、全体で七十九名もの職員が施設に泊まり込んで緊急時の対応に備えてくれてきました。皆さん

の日報から抜粋して紹介します。

○さわやか倶楽部・本社運営部 奥 秀幸 エリアマネジャー
担当エリア内の各施設では事故や設備に関する問題はありませんでした。鳴水館の是此田（これこだ）施設長は、有事の際の対応に備えて昨日から施設に泊まっています。管理者になって約二年になりますが、施設長としての責任感が強くなり、成長を感じました。

○さわやか春日館 古屋 篤子 施設長

今日は予報通り大雪でした。春日館は施設の近くに住む職員が多いのですが、それでも皆一時間かけて歩いて来るなど頑張つて来てくれていました。私も今夜帰つて明日の朝早く来る時にはおそらく凍結しているでしょうから、施設に泊まることにしました。斎藤リーダーは、私が泊まるなら今日から来て泊まろうと頑張つてもらっています。やはり損得なしに行動できる人を育てたいと思います。

この他にも多くの職員が、危機を予測して事前に様々な対処をしてくれたおかげで、大きな事故や問題もなく、無事にこの大寒波を乗り切ることができました。自分のことよりもお客様のことを第一に考えて行動してくれる素晴らしい仲間たちには、本当に頭が下がります。ありがとうございます。「慈愛の心」が發揮された出来事だと思います。会社や職場に対するロイヤルティ（愛社精神・忠誠心）を持ち、いつも真剣にお客様のことを考えていると、目の前の出来事にも多くの気づきが芽生え、先のことが自然とイメージできるようになります。それが直感力、先見力となつて次の行動に結びつくようになると、有事の際にも慌てることなく、落ち着いて正しい判断と事前の対応ができるようになります。

成功者と呼ばれる人々は、決して自分本位の考え方をせず、常に誰かを喜ばせよう、社会のために役に立とうと考えて行動しています。今月の推薦図書『金持ちになる男、貧乏になる男』では、それぞれの考え方と行動習慣の違いについてわかりやすく解説されています。例えば以下のような内容です。

・貧乏になる男は「すぐに金持ちになりたい」と考え、金持ちになる男は「金持ちにふさわしい人物になるう」と考える

・貧乏になる男は「お金をもらつて社会から引退すること」を夢みて、金持ちになる男は「財産を築いて社会に貢献すること」を夢にする

自分本位ではなく、お客様や周りの仲間のこと優先して考え、ギブ＆ギブの精神で行動することが、成功者への第一歩です。

自然災害や大きな事故など、私たちにはいつどんな形で突然の危機が訪れるかわかりません。ウチヤマグループにも今まで数多くの試練が訪れました。ピンチのたびに、仲間が団結して協力し、周囲の方々からも様々な形で助けていただいたおかげで、今日があります。私たちの周りにも困った人がいれば、いつでも進んで手を差し伸べることが大切です。そうして人の役に立つことで、自分自身の心が豊かになり、いつか自分が困った時には周囲から助けてもらえることにもなるのです。

今、職員の中にも仕事や生活で困っている人がいれば、遠慮なく相談してください。私は会社を作った時から今まで、社員は家族の一員と思つて接していました。ウチヤマグループには現在四三〇〇名を超える仲間がいて、内山さわやか会をはじめとする多くの協力企業の存在もあります。一人で悩みを抱えたままにせず、誰かに相談することで解決できることがたくさんあります。個人の問題においても出来る限り相談に乗なり、困った時はお互いで支え合つことで、皆さん安心して長く働ける温かい組織を作つてきたいと思います。

誇りを持つて働く



当社の介護施設で「週休三日制度」の取り組みを開始したことが、年明けから立て続けにTBSの「NEWS 23」やRKBの「今日感テレビ」で放映され、多くの方に興味を持つて頂いていることを感じています。職員の採用と定着は、介護業界全体が抱える課題ですが、当社としても様々な角度からこの課題を取り組んでいます。

新卒採用の強化や、離職を防ぐ取り組み、離職者の復帰奨励等、入社の入口と出口における体制作りも行っていますが、勤務してくれている職員の生活がいかに充実し、将来的にも安心して勤務していくかが、最も重要な土台であると考えています。「週休三日制度」の導入によって時間の使い方が変わることで、家族との「ミニユニケーション」やリフレッシュの時間をしっかりと確保する機会が増える効果が期待されています。

テレビ放映では、「さわやか行橋館」に所属している介護職員の原田真穂さんが中心となって取材を受けました。入社して三年ほどの原田さんには小さな子供がいます。ご主人も同じ施設で介護の仕事をしているので、これまでなかなか休みが合わずコミュニケーション不足になりがちだったそうです。「週休三日制度」によって、子供と過ごす時間が増えただけでなく、夫婦一緒に休日が増え、生活が変わってきた実感を持つっているそうです。必ずしも全職員にとって適した制度ということは大変重要なことだと考えています。

生活の充実の為には、勤務外のプライベートの時間も大切ですが、人生の多くの時間を費やす仕事の充実はもつと大切です。さわやか俱乐部では、平成二十八年一月二十三日に、社内の「症例発表大会」を開催しました。症例発表とは、さわやか俱乐部の各施設が行っている取り組みで、困難事例の改善や施設独自の取り組みによる運営改善を社内や外部へ向けて発

表する活動です。詳しくは本紙の一・二面にて紹介していますが、どの施設も素晴らしい改善事例を発表してくれ、最優秀賞には栃木県鹿沼市の「さわやかかぬま館」が選ばされました。対象となつたのは、バルーンカテーテル（尿道に入れるカテーテル管が抜けないように滅菌蒸留水を入れて風船のように膨らませたもの）の処置を受けている入居者様が、非常にバルーンを嫌がつていながら、医師の判断で抜去する事ができないという事例でした。かぬま館の職員は、入居者様やご家族様の思いを尊重して、何とか改善しようと果敢にチャレンジしました。症例発表では、職員が思いを一つにして目標を定め、協力してくれる医師を探すことから、入居者様の症状が少しずつ改善に向かう経過まで、丁寧に細かく報告してくれました。

このような症例改善は、当社の理念である「慈愛の心」「尊厳を守る」「お客様第一主義」を現場で実践してくれた結果であり、ギブ＆ギブの精神です。お客様の喜びを生み出した改善事例は、それを達成した職員の中にも大きな成功体験として残ります。さらに、その体験を外部へ発表することによって、自分の仕事の結果に大きな誇りを持つことができ、充実して仕事に向かうモチベーションとなるのです。

ウチヤマグループは、スローガンの一つに「日本一の接遇とオペレーションを目指す」という目標を掲げています。接遇とオペレーションを磨き、お客様の為に尽くすことが、結果として職員のスキル向上と仕事のやりがいにつながり、私生活の充実と合わせて、皆が楽しく充実した人生を送ることに繋がつてくるのです。このようなプラスの連鎖を生み出せるように、お客様の笑顔を目指として、日々努力と改善を続けていきましょう。



今月のオススメ

図書



推薦本

- 1 最強のリーダー育成書「君主論」(鈴木博毅)
- 2 金持ちになる男、貧乏になる男(スティーブ・シーボルド)
- 3 田中角栄100の言葉(別冊宝島編集部)
- 4 ナイチンゲール(早野美智代)
- 5 自分のアタマで考えよう(ちきりん)
- 6 医者が教える幸せな死のかたち(加藤豊)
- 7 一〇三歳、ひとりで生きる作法(篠田桃紅)
- 8 おによりつよいおよめさん(井上よう子 作／吉田尚令 絵)
- 9 おなかのなかにおにがいる(小沢孝子 作／西村達馬 絵)
- 10 おにはそと(せなけいこ 作・絵)



[シャングリラ] TEL.093-551-2121
全16BOX 営業時間／17:00～翌5:00

[かんてきや・かじ町店] TEL.093-511-0753
全65席 営業時間／17:00～24:00

北九州市小倉北区米町1-9-8 北九州ホテルプラザ1F

シャングリラ&かんてきや・かじ町店 移転リニューアルオープン!

北九州市小倉北区米町で営業していたボナーの居酒屋「米町再生酒場」およびカラオケ店「シャングリラ」が、平成28年2月10日に同区鍛冶町に移転オープンしました。新店舗は旧店舗から近く、JR・モノレールの小倉駅からも徒歩5分程度と非常に交通アクセスが良い場所です。居酒屋は「かんてきや・かじ町店」と店名も変わり、カラオケが利用できる個室も用意しています。



●軍場マネージャーよりご挨拶

この度、かんてきやかじ町店のマネージャーとして配属されました軍場です。新しい店舗はコロッケ俱楽部シャングリラが併設されており、居酒屋としてもレストランカラオケとしてもご利用いただけるハイブリッド型店舗となっております。居酒屋では主に宮崎産の地鶏「じとっこ」や宮崎ブランド豚「まるみ豚」を扱っており、JA日向から新鮮なものを毎日仕入れています。この専門性を活かし、たくさんのお客様においしいお料理と手厚いサービス、楽しい時間を過ごしていただけるよう、スタッフ一丸となってお店づくりをしてまいります。皆様のご来店、心よりお待ちしております!(軍場 史織)



Happy Wedding

吉田 隼人さん&真理さん

昨日、11月25日入籍いたしました。これからは、夫婦で公私ともに支え合って、明るい家庭を築いていきます。

今後ともご指導の程、宜しくお願ひ致します。

さわやかケアプランセンター門司
ケアマネジャー・吉田 隼人



田尻 剛史さん&亜紀さん

1月24日、福岡では観測史上40年ぶりという大雪の中での結婚式となりました。公共機関も満足に動いておらず、式自体も開催できるのか危うい状態でしたが、家族、友人、会社の仲間などほとんどの方に参列して頂きました。仕事でもプライベートでも裏方のタイプなので、大勢の仲間の前で主役をやらせてもらって不思議な感覚でしたが、新しく家族が増え、日に日に自覚と責任感を感じております。

これからも家族や会社、お店に来店して下さるお客様の為に何ができるかを考え、より高みを目指して頑張っていきます。

かんてきや博多駅前店/マネージャー・田尻剛史

Welcome, Little Princess!

～我が家のお姫様～



石本 七海ちゃん

平成28年 1月19日生まれ

女の子

長女が生まれました。家族が三人になり、家族のサイズが1.5倍になりました。仕事を1.5倍頑張り、家庭を1.5倍楽しみ、三人の人生が3倍充実したものになるよう手を取り合っていきます。

●ななみちゃんのパパ
さわやか俱楽部
運営部部長・石本 将宏



《ウチヤマグループの奨学金制度》

さわやかスカラーシップのご案内

ウチヤマグループでは、社員の福利厚生の一環として、「さわやかスカラーシップ」という奨学金制度を平成25年4月から実施しています。頑張って働いている社員の子供たちが、経済的な理由で希望の進路を絶たれることのないように、会社としてできる限りバックアップする

ことで、子育てしながらでも安心して長く働く環境を整えるための制度です。貸付金額は、申込時における年収の範囲内で、子ども1人に対して上限150万円、最大3人までとなっています。お子さんの進学で活用を考えている方は、本社・総務部まで気軽にご相談ください。

さわやか 相談室

一人で悩まないで!
あなたの悩み
話してみませんか?



お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております!

電話番号

メール

090-9497-5764

sawayakasoudan@softbank.ne.jp